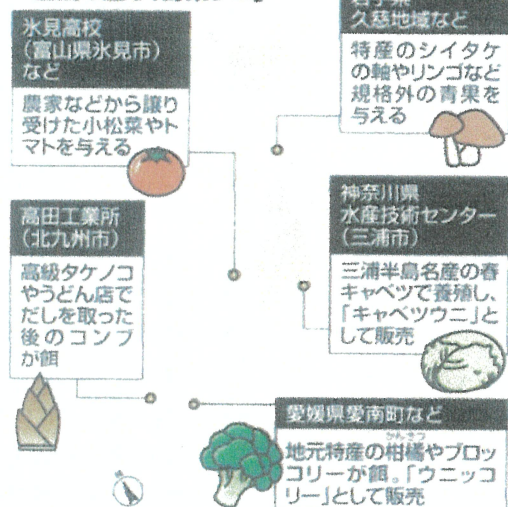


次の文章は、読売新聞に掲載された文章です。この文章を読んで、あなたの意見を800字以内で述べなさい。

「野菜ウニ」養殖広がる…キャベツやトマト 廃棄品餌に 食品ロス削減

廃棄野菜などを餌としてウニを養殖する「野菜ウニ」が全国で広がっている。ウニは雑食性で、キャベツなどを好んで食べることが近年の研究で分かった。ウニが藻場の海藻を食い尽くす「磯焼け」対策、ウニの身入り改善、食品ロス削減——。「三方良し」の試みとして注目を集めている。

◆全国の主な「野菜ウニ」



「磯焼け」深刻

富山県氷見市の県栽培漁業センターで、県立氷見高校海洋科学科の生徒がいけすに小松菜やトマトを入れると、中にあるムラサキウニがゆっくり近づき、吸い込むように食べ始めた。野菜は地元農家などから譲り受けた廃棄用で、3年の生徒（17）は「毎週成長を見るのが楽しみ」と目を細めた。

富山湾では磯焼けが深刻化している。ウニによる食害に加え、海水温の上昇によりテングサなどの海藻が極端に減少し、藻場を産卵場とするアオリイカの県内漁獲量は、昨年までの10年間で半減した。磯焼けの海ではウニ自体も餌が乏しく、痩せて食用に向かないため廃棄するしかないのが現状だ。

その状況を改善しようと同校の生徒たちが2022年から、近海で自ら捕ったムラサキウニ約400匹を育てている。1次産業の振興を図る地元団体と組み、野菜ウニのパスタソースなどの商品化を目指していて、生徒は「商品化が実現すれば、漁師にも農家にもプラスになる。大事に育てたい」と意欲的だ。

果物のような甘み

野菜ウニの先駆者として知られるのが、神奈川県水産技術センターの「キャベツウニ」。同センターが大根の葉やマグロの切り身など200種以上の食材を与えたところ、軟らかい葉物野菜を好むことがわかった。キャベツウニは県内のスーパーで販売され、「果物的な甘さがあり、磯臭さはない」と評判だという。

岩手県の久慈地域では、県職員がシイタケの軸や規格外のリンゴなどを与えている。昨年度は水槽で飼育し、今年度は同県洋野町の漁港で実証実験を行う予定だ。天然に近い身入りや味を再現することに成功すれば、地元の漁業者らにノウハウを提供することになっている。

厄介者一転

厄介者のウニの存在をチャンスに変えようという取り組みは西日本にも広がっている。北九州市のプラント建設業「高田工業所」は、玄界灘で駆除したウニにうどん店でだしを取った後のコンブを与えている。

水産庁は、ウニの駆除などの藻場保全活動に補助金を出しているが、宮城大の西川正純教授（水産利用学）は「国の支援頼みでは限界がある。身入りを改善する畜養が全国に広がれば、漁業者にも利益を還元できる」と期待を寄せる。

AYA (Adolescent and Young Adult) 世代とは、思春期、若年成人世代のことを言い、世界各国で定義は様々である。日本では 15 歳～39 歳の年齢層の人を指し、がん医療に用いられている用語である。AYA 世代のがん患者数は非常に少ないこと、この世代のがん患者に診療できる専門家も少ないこと、医療制度や医療支援が行き届いていないことなどから、わが国でも特有の課題があるのが現状である。

以下は、AYA 世代のがん医療の包括的調査結果の一部である。

		現在治療中(治療中の悩み 年齢別 上位5)				調査期間: H26年6-11月			
全体(n=213)		15～19歳(n=33)	20～24歳(n=22)	25～29歳(n=33)	30～39歳(n=119)				
1位	今後の自分の将来のこと	60.9%	今後の自分の将来のこと	63.6%	今後の自分の将来のこと	72.7%	今後の自分の将来のこと	63.6%	57.1%
2位	仕事のこと	44.0%	学業のこと	57.6%	仕事のこと	50.0%	今後の自分の将来のこと	63.6%	47.1%
3位	経済的なこと	41.5%	体力の維持、または運動すること	45.5%	経済的なこと	45.5%	経済的なこと	48.5%	43.7%
4位	診断・治療のこと	36.2%	診断・治療のこと	42.4%	診断・治療のこと	40.9%	不妊治療や生殖機能に関する問題	48.5%	42.0%
5位	不妊治療や生殖機能に関する問題	35.3%	後遺症・合併症のこと	36.4%	後遺症・合併症のこと	31.8%	診断・治療のこと	39.4%	36.1%

図1 (厚生労働省(2017)小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方検討会 資料4  
清水千佳子 思春期・若年成人(AYA)世代のがんの現状と課題より作成)

問1 図1は、AYA世代のがん患者が治療中に悩んだことの第1位から第5位までを、全体と年齢別にした表である。AYA世代のがん患者のうち、15歳～19歳までの治療中の悩みの特徴を200文字以内で述べなさい。

# AYA世代がん患者のアンメットニーズ

第1回小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方に関する検討会 清水参考人 提出資料(2017.12.1)・一部改変

○ 15歳以上で発症したAYA世代にあるがん患者は、治療中に様々な不安や悩み等を持っているが、医療機関で「相談したかったが、できなかった」と回答した人が少なくない。

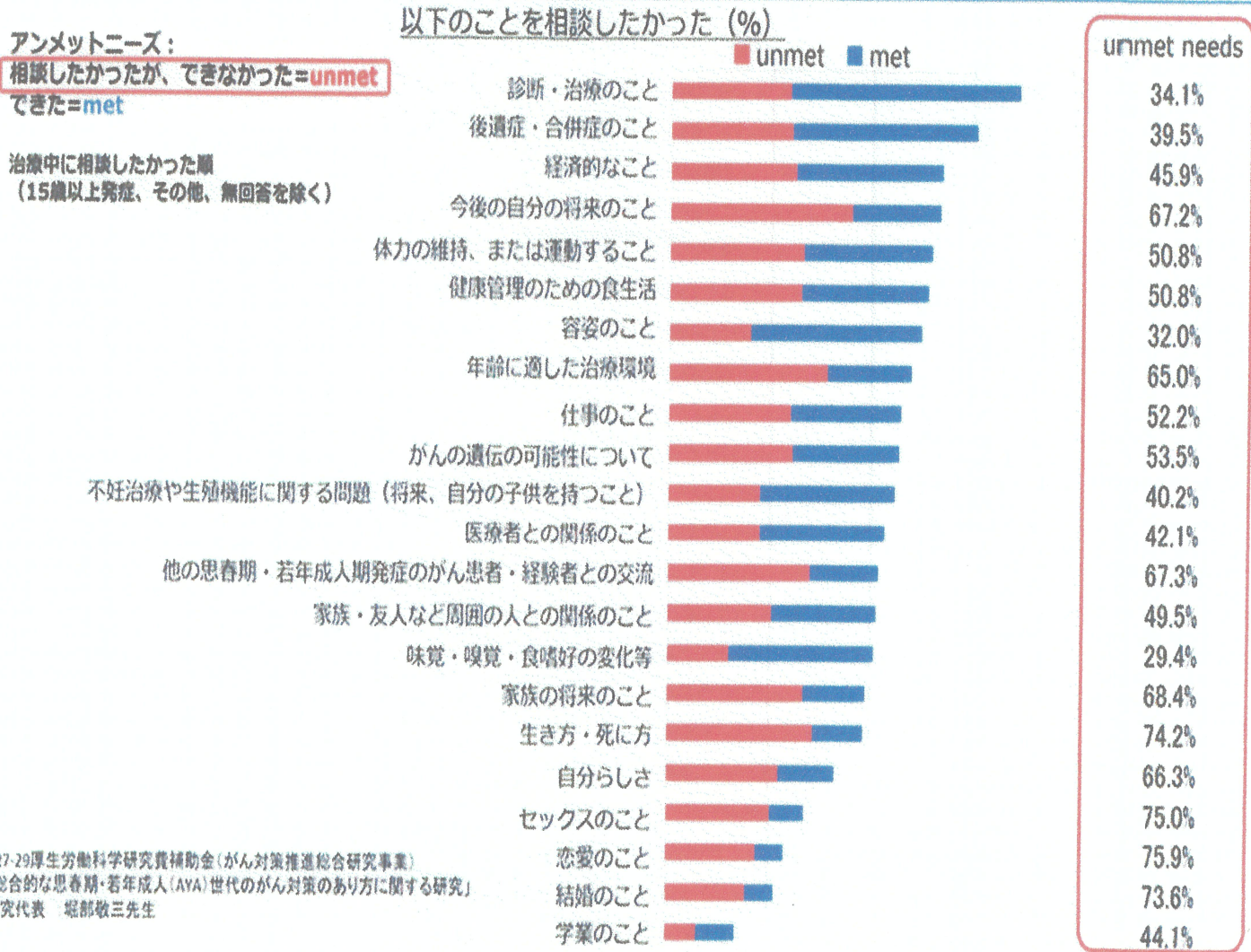


図 2 (厚生労働省 (2017) 小児・AYA 世代のがん医療・支援のあり方検討会 資料 4  
清水千佳子 思春期・若年成人 (AYA) 世代のがんの現状と課題より作成)

問 2 図 2 は、AYA 世代のがん患者のニーズに関する包括的実態調査の結果である。患者は治療中に様々な不安や悩みを持っているが、医療機関で「相談したかったが、できなかった」と回答した人が少なくない。あなたが患者であった場合、医療機関に相談したい内容を考え、図 2 より 1 つ選びなさい。そして、その相談内容に対してどのような支援が必要と考えるか、考えられる支援とその理由を 600 字以内で述べなさい。